

平成30年度第2回教育課程編成委員会 議事録

【日 時】平成31年3月20日（金）13：30～14：35

【場 所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委 員】壱岐市社会福祉協議会副会長 品川 洋毅

壱岐市立老人ホーム所長 木屋村 伸吾

社会福祉法人博愛会

特別養護老人ホーム ハッピーヒルズ 山口 壽美

【事務局】校長 中野 勝、介護福祉科学科長 田島 百合子、記録 藤玲子

- 議 題
- 1 教育方針について
 - 2 平成31年度前期の行事予定について
 - 3 教育課程編成方針について
 - 4 次年度教育課程及びシラバスについて
 - 5 高等教育無償化について
 - 6 その他

内 容

（1）教育方針について

中野：配布資料にもとづいて岩永学園の教育理念及び壱岐校の教育理念について再度説明する。また、「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織となる」こと及び地域社会から必要とされる組織、必要とされる人材の提供という岩永学園の大きなビジョンについて互いに確認をした。

教育理念・ビジョンの実現のため、年3回の教職員研修を長崎で実施し研鑽に努めていることを説明。壱岐校の存在意義についても改めて説明し理解を得た。

介護福祉科の教育方針について

田島：こころを育む、思いやりを育む、笑顔を大切にする、自ら考え行動することを教育の根幹に置いている旨の説明をする。

品川委員：説明の中で、責任ある福祉分野の専門職としての人材育成とあったが、介護現場では、責任感をもって仕事をする、小さなミスが大きな事故に繋がるということを授業の中で教えてほしい。

田島：授業、実習を通して教えていく旨説明。

(2) 平成31年度前期の行事予定について

平成31年度1月～3月までの経過報告

中野：1月の国家試験受験（留学生含め14名全員）発表は3月27日の予定。自己採点では日本の学生の4/6が合格しているのではないかと説明。

定期試験、施設実習指導者説明会、卒業式などについて報告。

平成31年4月～7月までの行事予定について

中野：次年度の入学予定数報告

日本人5名、留学生10名の予定（ベトナム5、フィリピン3、スリランカ1、ロシア1）

避難訓練、歓迎バスハイク、健康診断、留学生に対する壱岐警察署の講話、定期試験、施設実習など説明

木屋村委員：留学生の中には火災や災害を想定した避難訓練を体験したことのない学生も多数いるとのこと、授業の中で避難訓練を行うのは非常に重要である。避難訓練について、火事だけでなく津波の場合を想定した訓練は行っているのか、また津波の際にはどのような避難経路を想定しているのか。

中野：現在2通りの案がある。4月8日の火災避難訓練時に壱岐消防署のアドバイスを得て決定する予定である。

(3) 教育課程編成方針について

田島：本校作成のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーにもとづいて説明

品川委員：今説明された教育課程方針に従って教育課程が決まるのか。

木屋村委員：学習する時間数も多く、専門的で学習内容が非常に難しいように感じる。これだけの内容を2年間で習得するには大変な努力が必要だろうと施設職員とも話した。全く介護福祉分野の知識のない学生にどのように指導を行っているのか。

中野：今年度より、各高校と連携して入学前教育を実施し、入学予定者に骨格の名称などの学習教材を事前に送付している。

事前に専門用語の知識があれば入学後の学習がスムーズに開始できるのではと期待している。

(4) 次年度教育課程及びシラバスについて

田島：一教科を例にシラバスについて説明。

木屋村委員：シラバスを施設の職員に見せたらこんなにも学習内容が多いのかとびっくりしていた。

品川委員：実習に来る学生達もこれだけのことを学んでいるのかと思うと、受け入れる側も気が引き締まる思いである。

田島：学科、演習の授業だけでは体験できないことや実感できないことを実習中に指導していただいている。実習に出て初めて授業で学んだ内容が身につく。授業と実習が教育の両輪であると考えていただけると幸いである。

(5) 高等教育無償化について

高等教育無償化について概要を説明。

(6) その他

次回の開催予定についてお知らせ。